

令和 7 年度  
「運営に関する計画・自己評価」

大阪市立今川小学校

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題

○安心・安全については、令和 6 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについては、187 件中 187 件解決できており、解消した割合は 100 % であった。また、令和 6 年度の（小学校学力経年調査）・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する児童の割合を 90 % 以上にする目標もおおむね達成できた。不登校児童については、長期にわたって不登校になる児童は 4 名であり、目標もおおむね達成できた。休みがちの児童が多く、家庭と連携を密に取り、心のケアやサポートを継続していく必要がある。

○学力については、低・中位層の底上げ、また、上位層からの中位層への流出を防ぐことが課題である。そのためには、基礎基本の反復練習（計算・漢字など）や、活用問題に慣れるための時間が必要であり、モジュールタイムで強調週間を設けるなど学力向上に向けた取り組みが必要である。また、専科学習の取り組み方、若手教員の授業力・指導力も児童の学力に直結していることが分析の結果から明らかとなり、研修の内容・深め方に考慮が必要である。さらに、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を目指していく必要がある。

## 中期目標

## 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を 81 % 以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・小学校学力調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81 % 以上にする。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する割合を 68 % 以上にする。
- ・年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 81 % 以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 66 % 以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 86 % 以上にする。

## 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。
- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1（1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないかつ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにする）を満たす教員の割合を 86 % 以上にする。
- ・本市調査における「学校図書貸出冊数（児童 1 人当たりの年間貸出冊数）を 50 冊以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・小学校学力調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する割合を67%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。
- ・年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないかつ1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにする）を満たす教員の割合を85%以上にする。
- ・本市調査における「学校図書貸出冊数（児童1人当たりの年間貸出冊数）」を50冊以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

## (様式2)

大阪市立今川小学校

令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・小学校学力調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会や縦割り班活動、今川フェスティバルなど、児童が楽しめる活動を通して、充実した学校生活が送れるようにする。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病欠以外の欠席が多い、遅刻が多くなったなどの不登校傾向がみられる児童に対して、対応やマニュアルに基づき担任や養護教諭を中心に早期発見を行い、全教職員が協力し、関係機関等と連携して、初期段階から支援を行う。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> </ul>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに、1年後なりたい自分を考え目標を設定する。また、学期ごとに振り返りを行い、目標を達成できるようにする。</li> <li>・ゲストティーチャーや出前授業などを積極的に活用し、キャリア教育の充実をはかる。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

## (様式 2)

大阪市立今川小学校

令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する割合を 67 %以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65 %以上にする。</li> <li>・年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 85 %以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日 10 分間の今川タイムで基礎基本の学習に取り組み、言語力や計算力の向上をはかる。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</li> </ul>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に 1 回以上、外部講師の招聘や出前授業の取り組みを行うことで、児童の興味・関心を高める。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する割合を 67 %以上にする。</li> </ul>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、昼休みに講堂を開放し、体を動かす遊びやスポーツをする機会を増やす。</li> <li>・固定遊具、用具を使った運動やなわとび・持久走に児童が主体的に取り組む「今川パワーアップタイム」を学期に 1 回設定する。</li> <li>・運動委員会が企画、運営する「今川みんな遊び」を年間 3 回以上行う。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65 %以上にする。</li> </ul>	

取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】

- ・学期に1回、健康週間を行い、規則正しい生活を心がけて、生活できるようにする。

指標

- ・年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

取組内容⑤【基本的な方向5、健やかな体の育成】

- ・「食に関する指導の全体計画」に基づき、各学年、年に2回以上の食に関する指導を行い、食に関する児童の興味・関心を高める。健康教育や給食の時間等で朝ごはんを毎日食べることの大切さに気づくことができるようとする。

指標

- ・小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。</li> <li>・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1（1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないかつ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにする）を満たす教員の割合を 85 % 以上にする。</li> <li>・本市調査における「学校図書貸出冊数（児童 1 人当たりの年間貸出冊数）」を 50 冊以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の天気」を毎日入れるとともに、各学年に応じて、デジタルドリルやデジタル教科書などを活用し、個別最適な学びや協働的な学びの機会を増やす。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時差出勤の積極的な活用を行うとともに、週に 1 度以上のゆとりの日を設定し、定時退勤できる日を確保する。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1（1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないかつ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにする）を満たす教員の割合を 85 % 以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はぐくみネット事業と連携した学校図書館の充実を推進する。お昼休みの図書館開放や週 1 回の図書の授業を活用して、本に親しむ機会を増やす。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査において、児童 1 人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、50 冊以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点